

平成29年度 自己評価及び学校関係者評価

兵庫県立氷上西高等学校

学校教育目標

教育目標

校訓―「自主 互譲 責任」を理念として、生徒一人一人の個性と能力の伸長を図り、人間としての誇りと豊かな心を育み、活力あるたくましい生徒を育成する。

教育方針

- ① 学校・保護者・地域との連携を密にし、地域に根ざし地域に貢献する学校づくり、地域に信頼される魅力ある学校づくり、特色ある学校づくりを推進する。
- ② 多様な教育活動を通して、自主・自律の精神と豊かな感性を育み、創造力と豊かな公德心を培う。
- ③ 温かさや厳しさの調和した人間的なふれあいに基づく生活指導を通して、生徒一人一人の生き方に関わる主体的な進路選択能力を培う。
- ④ 人と人との絆を強め、公共心と福祉の心を育み、社会の変化に主体的に対応できる能力と生涯学習社会をたくましく生き抜く力を培う。
- ⑤ 国や郷土の歴史・文化・伝統などについての理解を深め、また、異なる文化や価値観を理解し、国際社会と共生社会に生きる人間としての在り方や生き方を考えさせる。

本年度重点目標

本年度重点目標

生徒が主体的に行動し挑戦することで一人一人の可能性を伸ばす教育活動の推進

- ① 小規模校の特性を生かした教育内容や指導方法を工夫し、「学び直し」を通して基礎・基本の確実な定着を図り、学ぶ意欲と学力を高める。
- ② 生徒一人一人の的確な実態把握と生徒理解に努め、「挨拶」「時間厳守」「清掃」の生活三原則を徹底させる中で基本的生活習慣の確立、互いの立場を理解し尊重し助け合う温かい心と強い心の育成を図る。
- ③ 地域との連携を深め、まちづくり活動や地域の活動に参加することで、体験的・実践的に学び、自己実現とキャリア形成を促し、地域に貢献する高い志を持つ生徒を育成する。
- ④ 連携型中高一貫教育校として、交流行事の推進や連携授業の研究を通して連携のあり方を考え、連携中学校とより一層の教育活動の充実を図る。
- ⑤ 広報活動を積極的に展開して地域住民の理解を得るとともに、開かれた学校づくりを推進する。

継続的目標

継続的目標

- ① 「県立高校特色づくり推進事業」「高校生ふるさと貢献活動事業」「高校生就業体験事業」等の教育活動を通して、多様な学びの機会を設定し、学ぶ意欲を高め、自己実現、キャリア形成につなげる。
- ② 進路実現のための取組や資格取得の機会を強化するとともに、学校行事や生徒会活動・部活動などを通して、達成感・自己有用感を育み、母校と自分に誇りを持つ生徒を育成する。
- ③ 「教育の専門家」としての自覚を強く持ち、一步踏み込んだ信頼関係に満ちた師弟関係を構築し、「教え、諭し、育てる」ことの実践力向上を図る。

学校自己評価

〈評価〉 4…よくできた 3…できた 2…あまりできなかった 1…できなかった A≥3.3 B≥2.5 C≥1.6 D<1.6

領域	評価の観点	番	評価項目	平成29年度実践目標	平均	評価
学校運営	開かれた学校づくり	1	中学校との連携授業	連携中学校との連携授業を工夫し、充実、発展させる	2.3	C
		2	中学校との生徒会交流	生徒会活動の交流や連携を深める 道の駅のタベ、合同芸術鑑賞会等の企画、運営	3.2	B
		3	地域への貢献	ボランティア活動や地域の行事へ参加することによって地域との交流・連携を図り、地域に貢献する人材の育成を目指す 特定の生徒だけではなく、より多くの生徒がボランティア活動に参加する	3.5	A
		4	広報活動の充実	スクールニュース、HPの充実 保護者や地域住民の学校行事や授業への参加・見学の機会を増やす	3.5	A
	生徒指導	5	生活習慣の確立	あいさつの徹底、遅刻防止、服装、髪型等の校則違反をなくす	2.3	C
		6	小規模校ならではのきめ細やかな指導	KIDUKIカードの活用によって生徒情報を共有し、個に応じた機敏な対応を行う	1.9	C
		7	生徒指導体制の推進	問題行動の未然防止のため、昇降口での毎朝の登校指導や校内校外の巡回指導を実施する いじめの早期発見と未然防止のため、いじめアンケートと随時面談を実施する	2.8	B
		8	学校行事の充実	学校行事の中に生徒が主体的に取り組む場面をつくり、積極性や協調性を育てる	3.3	A
		9	部活動の活性化	部活動に積極的に取り組ませ、学校生活を充実させる	3.2	B
	進路指導	10	進路指導体制の充実	従来の講義形式ではなく、生徒参加型の進路ガイダンスを計画し、実施する	3.0	B
		11	進路意識の向上	看護師養成セミナーや、校外の進学説明会、オープンキャンパスへの積極的に参加させる 県教育委員会が作成したキャリアノートを活用し、1、2年生の時から、生徒の成長に合わせたキャリア教育を実施する	2.8	B
		12	職業観・勤労観の育成	2年生全員によるインターンシップを実施する 外部有識者、卒業生を招いての進路座談会を実施する 地域の社会人との交流会を実施し、仕事と家庭生活、人生等について学び、考える機会を増やす	3.3	A
	教職員の資質向上	13	授業改善	授業公開週間、授業研究会の実施および生徒による授業評価、学習状況調査を実施し、より良い授業づくりに取り組む	3.0	B
		14	計画性を持った研修の実施	教育相談、特別支援教育、進路指導等、学校の諸問題について校内研修を計画的に実施する	3.0	B
	環境整備	15	落ち着いた学習環境の整備	清掃や分別を確実にし、公共心と責任感を育てる ロッカーを利用するなどして教室の環境整備を徹底する	2.7	B
教育課程	自ら学び考える力の育成	16	自主的に学ぶ授業場面	総合的な学習の時間に限らず、各科目の授業計画にペアワーク、グループワークを取り入れるなど、自主的に学ぶ授業展開を計画実施する	3.0	B
	基礎基本の定着	17	学習評価の工夫	各授業の場面で学習活動の具体的な評価規準を提示し、生徒の学習意欲を高めるよう、学習活動の評価を工夫する	3.1	B
		18	学び直しの工夫	学校設定教科「パワーアップ」を軸に学習意欲を高める学び直しのシステム化を行う	3.0	B
	個に応じた学習指導の徹底	19	指導方法、指導内容の工夫	指導方法や指導内容の工夫を行い、個に応じた授業づくりを行う 習熟度別指導や少人数指導によりきめ細かな学習指導を実施する	2.9	B
		20	各類型特色化の推進	生徒個々の進路と興味に応じた類型による教育を推進する 各種資格試験の合格者を増やす	2.8	B
課題教育	防災・安全教育	21	実践的な安全教育への取組	職員と生徒を対象としたAED心肺蘇生法講習会を実施する 防災リレーなどの行事や防災避難訓練で、生徒を対象にした安全教育を推進する	2.9	B
	人権教育	22	確かな人権意識の育成	職員研修会を実施し、職員の人権意識の高揚・認識の拡大を図る 人権HRを各学期に1回、計画的に行う	2.7	B
	特別支援教育	23	諸機関との連携	年間を通して外部関係機関（氷上特別支援学校・医療機関・公的機関など）やキャンパスカウンセラーとの連携により、専門的な助言や情報提供を得て、日々の学習指導や進路指導に活かす	3.2	B
		24	中高および学年間の引継	サポートファイル、中高連携シートの引継、中学校訪問、中高連絡会を通じ、中学からの一貫した支援・指導につなげると共に、必要に応じて『個別的教育支援計画』を作成し、個に応じた支援の方法を構築する	2.8	B
	社会人基礎力	25	心のサポートシステム研究開発	小高連携、中高連携、地域連携を推進し、異年齢の考え方を理解し、自尊感情を高め、自己有用感を育て、社会人基礎力を育成する	2.7	B

学校関係者評価

- ・地域活動等、活発に行動されていて好感が持てます。生徒たちも明るく挨拶をしてくれ、良いと思います。
- ・学校自己評価については、厳しく評価されていると思います。課題にされていることを次年度に改善できるよう、ご苦勞をおかけしますが、よろしくお願いいたします。
- ・部活動で記録を残されていますが、ボランティア活動が特に目立ちます。当然社会に出て大切な精神ですので、今後も継続し立派な大人にさせていただきますようお願いします。
- ・受検者定員割れは残念。アンケートの結果を見ると、西高に対する中学生の保護者の評価は高いが、中学生の評価が低いことが気になる。
- ・青垣中との活動の増加が青垣中からの受検者増につながったと考えられる。
- ・西高生はボランティア活動に積極的に参加し、よく活動してくれている。地域のクリーン作戦の活動にもたくさんの生徒がボランティアで参加してくれた。
- ・青垣は1つの地域にこども園から高校までが集中している。他の地域ではあまり見られない特色ある地域である。地域自治会としても幼児から高校生までの一貫した子育て支援に取り組みたいと考えている。そのことに関して、学校から自治会に要望があれば、教えてほしい。
- ・いじめアンケートで、3年生は「いじめを受けた」の回答が0である。このことから学校生活が楽しかったことがわかる。私の子どもも毎日楽しく学校生活を送っていたし、先生方に安心してお任せすることができた。
- ・定員割れは残念。私は西高はしっかり指導していると思うが、中学生のアンケート結果では生徒指導や学習指導の評価が低いことが気になる。
- ・文化祭の合唱コンクールで、一部の生徒の鑑賞態度が悪くてとても残念だった。しかし卒業式の態度はとても良かった。感動しました。